



ポータブルガスリーク検知器
SP-220シリーズ
データログマネージメントプログラム
SW-SP-220
取扱説明書

理研計器株式会社

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6
ホームページ <http://www.rikenkeiki.co.jp/>

目次

	頁
1. はじめに	3
1-1. このプログラムの目的と特徴	3
2. インストールとアンインストール	4
2-1. 使用環境のご注意点	4
注意：CD-ROMの取り扱いのご注意点	4
2-2. ソフトウェアのインストール	4
2-3. インストール作業の流れ	5
注意：再インストールにおける過去データの保存	8
注意：インストール注意点	8
注意：ネットワーク接続環境下での使用について	8
2-4. アンインストール作業	9
3. 操作方法	11
3-1. ダウンロード画面	11
① SP-220 からデータを受信する	12
② 機器情報データを受信する	13
③ 各種データのダウンロード	14
④ 本体データの一括ダウンロード	15
⑤ SP-220 本体のデータクリア	16
⑥ SP-220 本体の電源 OFF	16
⑦ 自動処理に変更する	17
3-2. データ閲覧画面	18
① データを削除する	19
② データの詳細を見る	19
③ 概要表示欄	20
④ パスワードの変更	21
3-3. データ詳細画面	22
① 表でみる	22
② プリンタに印刷する	23
注意：プリンタ設定の注意点	24
③ ファイルに保存	25
④ データの概要が同時に知りたい時	26
⑤ 表の詳細	27
3-4. 設定画面	28
① フォントの変更	29
② 本体ステータスの変更	30
③ SP-220 本体への変更通知	31
4. データの保守	32
4-1. データの格納構造の詳細	32
4-2. バックアップ	32
5. 使用上の注意点	33
6. トラブルシューティング	34
7. IrDA 仕様	35
7-1. 赤外線通信について	35
7-2. 通信開始の状態表示	35
7-2-1. オペレーティングシステムが SP-220 を認識したときのタスクバーの表示	35
7-2-2. データログプログラムと SP-220 本体が通信を行っているときのタスクバーの表示	35
8. ファイル構成	36
8-1. インストールフォルダ	36
8-2. 実行時の作業フォルダ	36
9. ソフトウェア機能諸元	37

1. はじめに

本取扱説明書に記されている操作方法及び、注意事項は、指定の使用目的に使用する場合のみ適用するものです。本取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合は、当社としては責任は負いかねます。

本取扱説明書では、Microsoft Windows 7、Windows 8、および Windows 10 のコマンド選択やダイアログボックスの設定などの基本的な共通操作については説明していません。初めて Windows をお使いになる方は、最初に Windows のマニュアルなどをお読みになり、Windows の基本的な操作方法を覚えてください。

警告

本製品のプログラム配布用CDの種類は「CD-ROM」です。
一般オーディオ用CDプレーヤーなどでは絶対に再生しないでください。
大音量により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。

注意

ポインティングデバイスの必要性

本ソフトウェアは、マウス・タッチ패드などのポインティングデバイスを必要とします。
キーボードのみでの操作は出来ません。

1-1. このプログラムの目的と特徴

本プログラムは、SP-220 に搭載されていますデータログ機能を使用して収集したデータをパソコンに取り込み有効活用するためのソフトウェアです。

データログ機能によって収集したデータをパソコンに取り込むことで次のような利点があります。

- ・ 収集データの一覧表示ができます。
- ・ 収集データの詳細を、表にして見ることが出来ます。
- ・ 表のデータを印刷して紙で保管できます。
- ・ 過去のデータを記録しておけます。
- ・ データを手書きで紙に書き写す必要がなくなります。
- ・ 複数の機器の管理が容易に行なえます。

おことわり

- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転載あるいは複製することは、法令に別段の定めがある場合を除き、堅く禁じられています。
- 本書の内容は、本製品の改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品をご使用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾契約書」にご同意いただくことが必要です。パッケージを開封された際に、同条項へのご同意があったものとさせていただきますので、ご了承ください。
- 本ソフトウェアは、所定の目的以外の使用はできません。取扱説明書に従わず本ソフトウェアを使用した場合、あるいは独自の改造をした場合、製品の安全と品質が維持できなくなる場合があります。また、これらによって事故が発生した場合は責任を負いかねます。

(c) Copyright 2016 Riken Keiki co.,Ltd. All rights reserved.
本ソフトウェアの著作権は理研計器株式会社が保有しています。

Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

2. インストールとアンインストール

2-1. 使用環境のご注意点

本プログラムは、Microsoft 社製のオペレーティングシステムである、Windows 7、Windows 8、および Windows 10 上での使用が可能です。他のオペレーティングシステム上での使用は出来ませんのでご注意ください。

本プログラムの、インストール時には最大約40MB のハードディスク容量が必要になり、運用時にはデータ数に応じてハードディスク容量が必要になります。容量に十分余裕のある状態でご使用ください。

注意

CD-ROM の取り扱いのご注意点
<ol style="list-style-type: none">1. CD-ROM の保管 直射日光が当たる場所や高温多湿の場所での保管はしないでください。2. CD-ROM ドライブの指定 スロットインタイプの CD-ROM ドライブでのご使用は避けてください。 CD-ROM に貼付してあるラベルが影響して、CD-ROM の取り出しが上手く出来ないことがあります。 ご使用になる CD ドライブは、トレイ方式をご使用ください。

2-2. ソフトウェアのインストール

ご使用になる、パーソナルコンピュータの CD-ROM ドライブに本プログラムの納められたインストール CD をセットします。しばらくするとインストール画面が自動的に起動します。

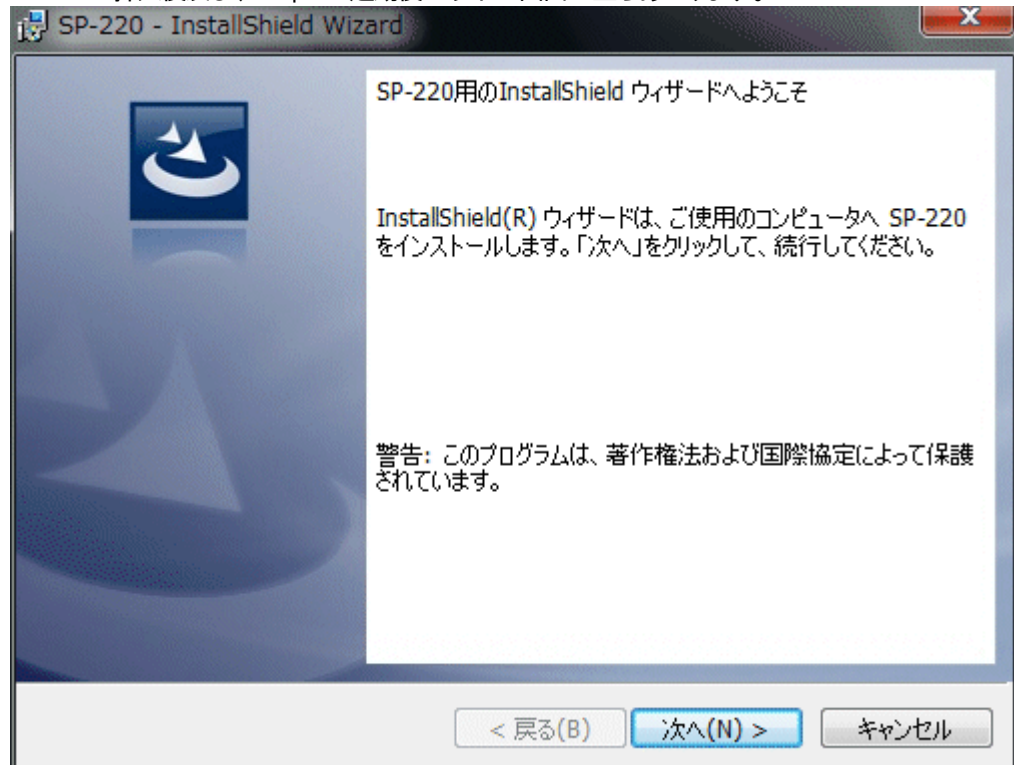
ご使用のパーソナルコンピュータが CD-ROM 自動起動処理に対応していない場合は、以下の方法で作業を進めます。

1. エクスプローラで CD-ROM ドライブを開きます。
2. “setup.exe” ファイルをダブルクリックします。

2-3. インストール作業の流れ

● セットアップの起動

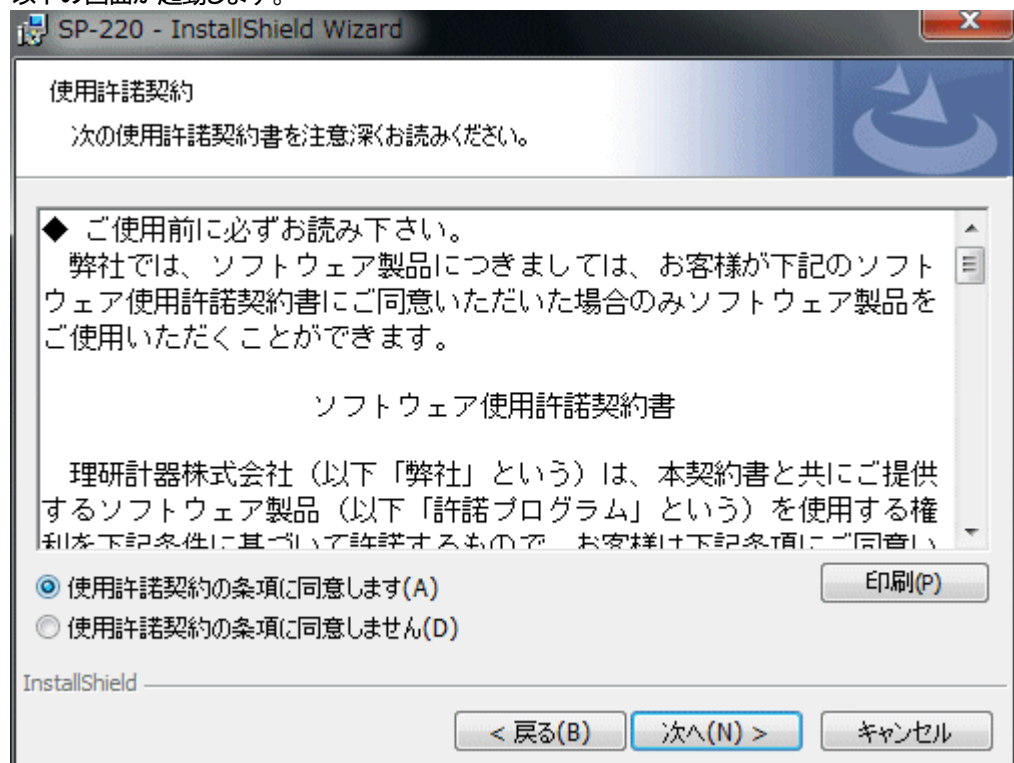
CD-ROM 挿入後及び、setup.exe 起動後に以下の画面が立ちあがります。



“次へ”ボタンをクリックしてください。

● 使用許諾の同意

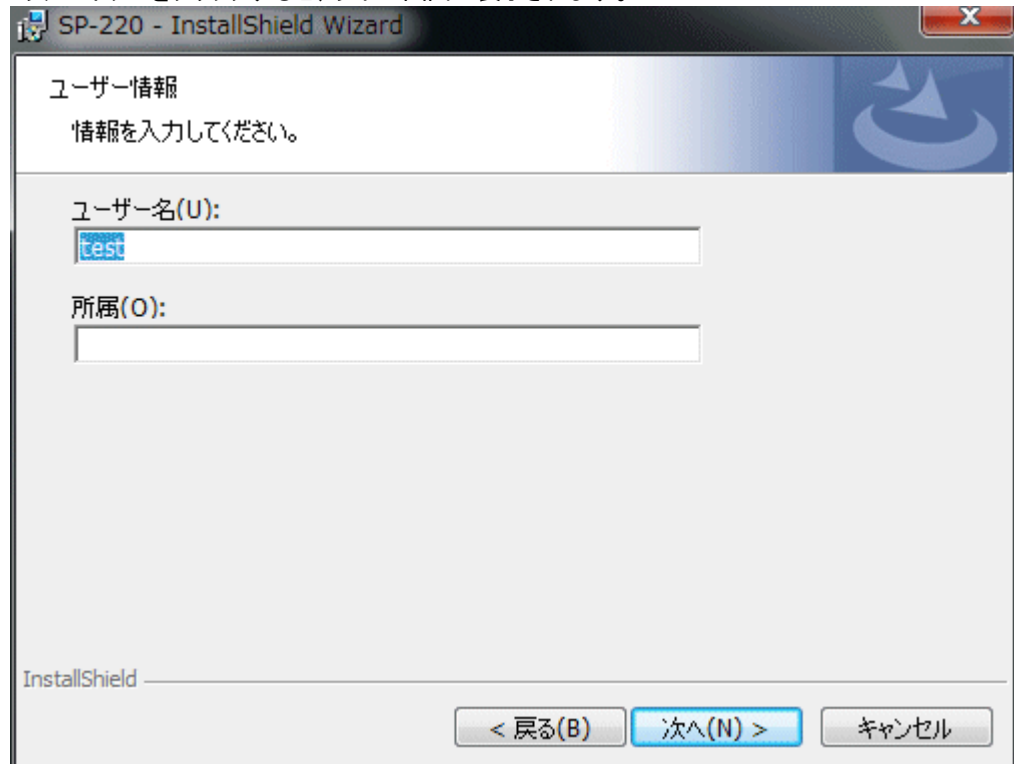
以下の画面が起動します。



インストールを行う場合は“次へ”、中止する場合は“キャンセル”ボタンをクリックしてください。
注意:ソフトウェア使用許諾契約書の内容を十分ご理解の上、本ソフトウェアのインストールを進めてください。

● ユーザ情報

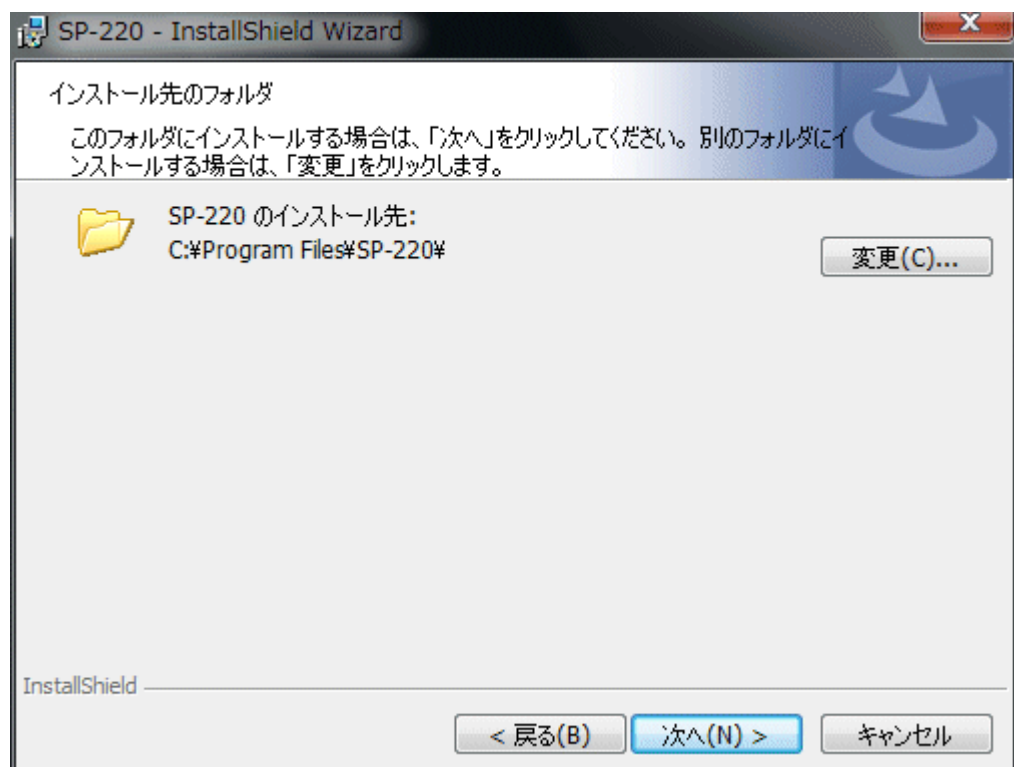
“次へ”ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



The screenshot shows a dialog box titled "SP-220 - InstallShield Wizard". The main heading is "ユーザー情報" (User Information) with the instruction "情報を入力してください。" (Please enter information.). There are two input fields: "ユーザー名(U):" (User Name) containing the text "test", and "所属(O):" (Organization). At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner.

“次へ”ボタンをクリックします。

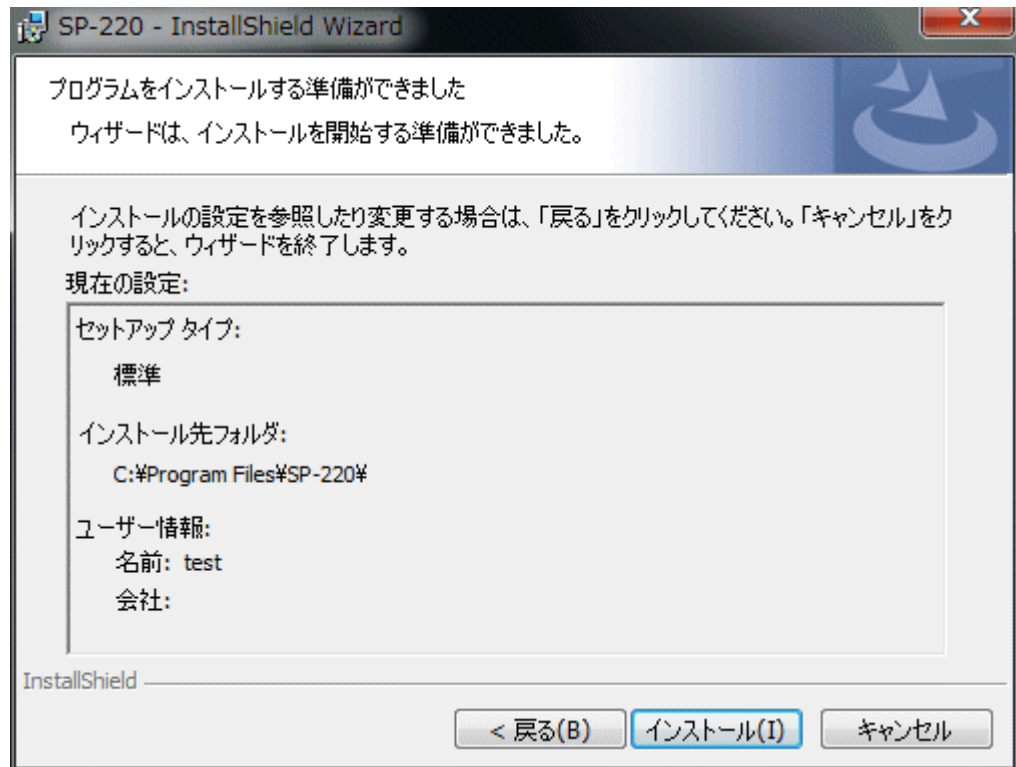
● インストール先のフォルダ



The screenshot shows a dialog box titled "SP-220 - InstallShield Wizard". The main heading is "インストール先のフォルダ" (Install Location) with the instruction "このフォルダにインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。別のフォルダにインストールする場合は、「変更」をクリックします。" (If you want to install in this folder, click "Next". If you want to install in a different folder, click "Change"). There is a folder icon next to the text "SP-220 のインストール先:" (Install location for SP-220) and the path "C:\Program Files\SP-220\". A "変更(C)..." (Change...) button is located to the right. At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner.

“次へ”ボタンをクリックします。

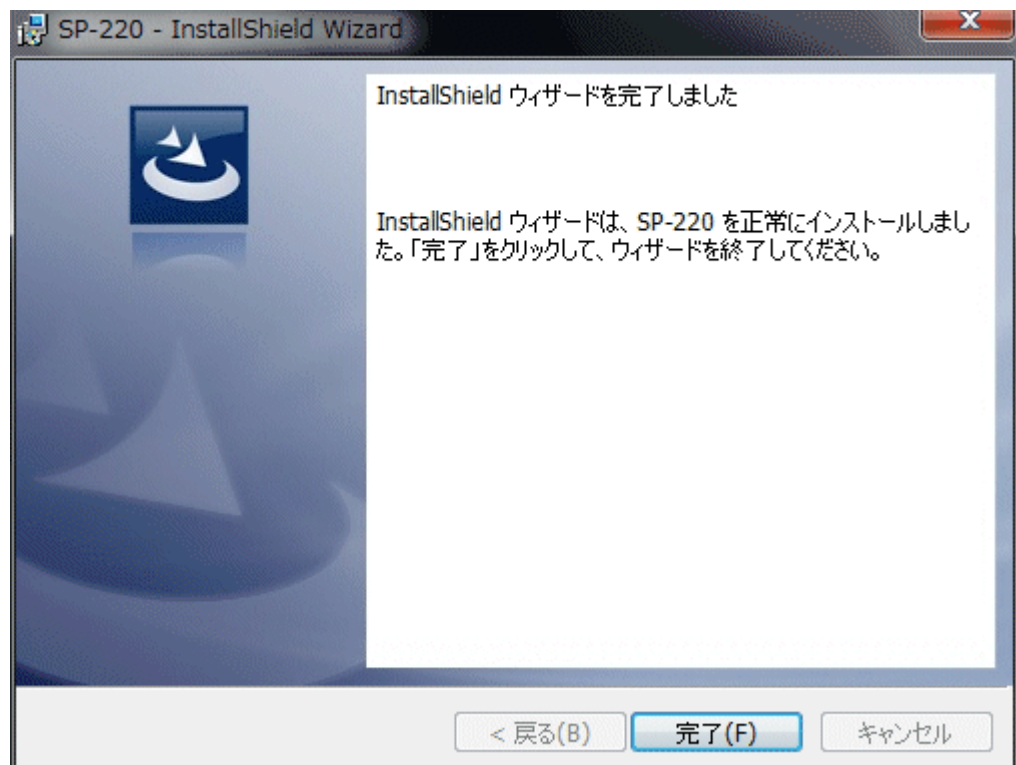
● セットアップの開始



“インストール”ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

セットアップ作業が終了すると以下の画面が表示されます。

● 完了



セットアップ完了後は、直ちに本プログラムがご使用になれます。

注意

再インストールにおける過去データの保存

再インストールを行なう場合は、以下の事柄に注意してください。

1. 一度アンインストールを行なってから、再度インストール作業をしてください。
2. 運用したあとで、アンインストールを行なった場合、ファイルが完全に消しきれず残っています。この内“SP220.mdb”はデータベースファイルです。過去データを保存しておきたい場合は、このファイルを別の場所に保存し、フォルダを消去してください。

注意

インストール注意点

本ソフトウェアは Windows システムに各種ドライバーなどのライブラリーが必要で、インストール時に自動的に組み込み処理が起動されます。

システムライブラリーをインストールする際にアドミニストレータ(管理者)権限でのインストールを要求されます。

この場合は指示に従い、アドミニストレータでログオンし、システムライブラリーをインストールしてください。

その後システムの再起動を要求されますので、再起動後に一般ユーザーでログオンしなおし、アプリケーションのインストールを行います。

(ライブラリーも、アプリケーションも CD-ROM 内の setup.exe を起動すれば、OK です。システムフォルダ内に必要なライブラリーがない場合のみアドミニストレータ権限でのインストールが必要になります。)

注意

ネットワーク接続環境下での使用について

ネットワークに接続されているパーソナルコンピュータにインストールする場合は、以下の内容をご確認ください。

IrDA 通信は TCP/IP 技術(インターネットなどに使用されている通信技術)の一部を使っており、特殊な通信グループ・IP アドレスを使用します。

これに伴い、強固なインターネットセキュリティソフトウェアが通信を拒否する場合があります。

可能な限りネットワークに接続されていないコンピュータで使用してください。

また、仕方なくネットワークに接続されているコンピュータの場合は、セキュリティ設定を十分ご検討いただいた上で使用してください。

2-4. アンインストール作業

● 起動

アンインストールは、タスクバーのスタートボタンから“コントロールパネル”をクリックし、コントロールパネルを起動します。

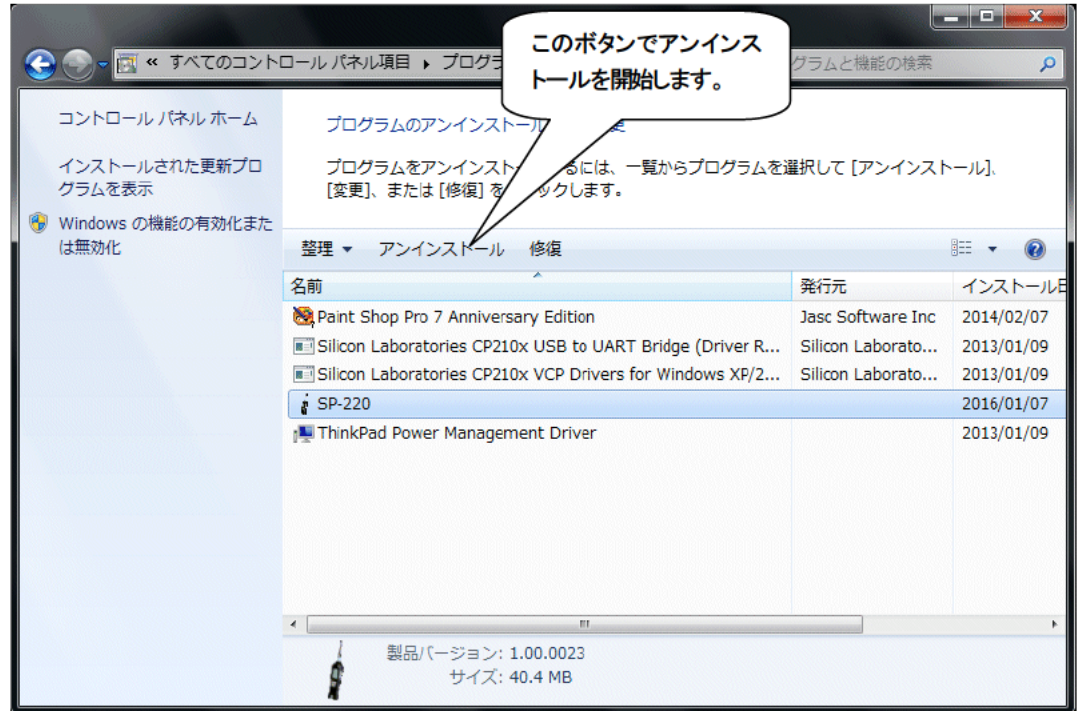
コントロールパネル(例)



コントロールパネル内の、“プログラムと機能”をクリックし、起動します。

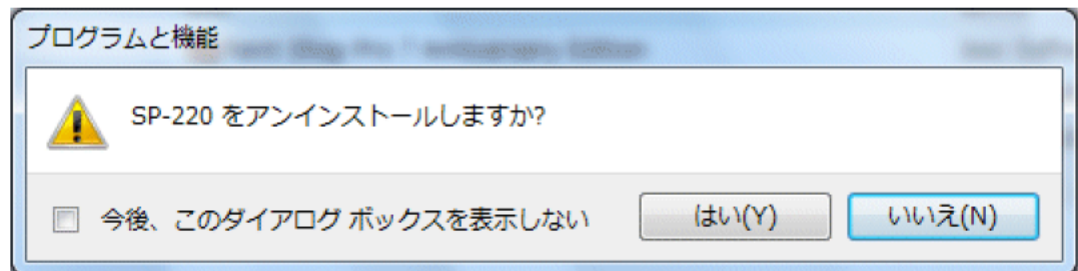
● SP-220 の選択

“プログラムと機能”をクリックすると以下の画面が起動します。



● 削除開始

“SP-220”を選択(クリック)し、“アンインストール”ボタンをクリックします。



“はい”をクリックすると、アンインストールを開始します。

注意: アンインストール中に“共有コンポーネントを削除しますか?”とメッセージが出る場合があります。“全て削除”を選ぶと、他のアプリケーションに影響を与える場合がありますので、“全て残す”を選択してください。

3. 操作方法

デスクトップのショートカット“SP-220”、またはスタートメニューをクリックし、“プログラム”を起動します。

3-1. ダウンロード画面

オープニング画面の後、ダウンロード画面が表示されます。



データの通信はSP-220 本体を適切な位置に置き、本プログラムが起動した状態で、本体の電源をONすれば自動的に通信可能か判断し、通信可能であれば受信待機状態になります。

① SP-220 からデータを受信する

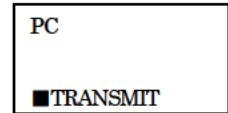
● 本体の準備

1. 本ソフトウェアを起動します。
2. SP-220 本体を、電源を切った状態で通信可能な位置に置きます。
3. SP-220 本体の電源を ON にします。

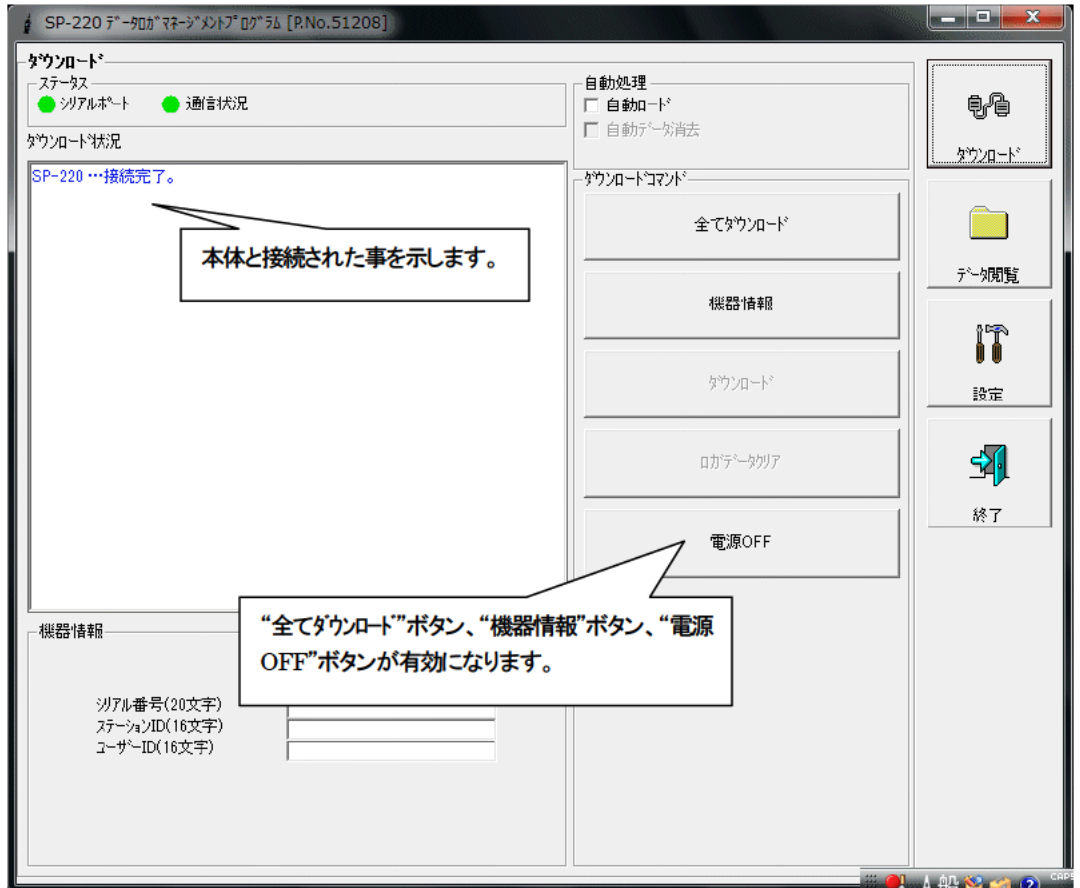
注意：

必ず、通信可能な位置に置いてから SP-220 の電源を ON にしてください。
電源 ON の状態で通信可能な位置に置いても接続できません。

SP-220 本体の液晶には右図のように表示されます。→
(SP-220 の液晶の表示能力の関係上、多少見にくくなっています。)



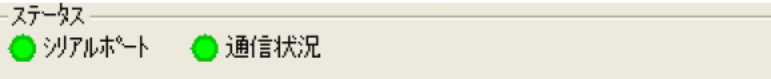
インフォメーション エリアに以下のように表示されます。



注意：

インフォメーション エリアの表示が上記と異なる場合は、SP-220 本体の電源を OFF にし、設置位置などを確認した上で再度電源を ON にしてください。

通信可能になると、“ステータス”エリアが変化します。



シリアルポート:

- 通信可能時 : 緑 パーソナルコンピュータのポートが使用可能
- 通信不可時 : 赤

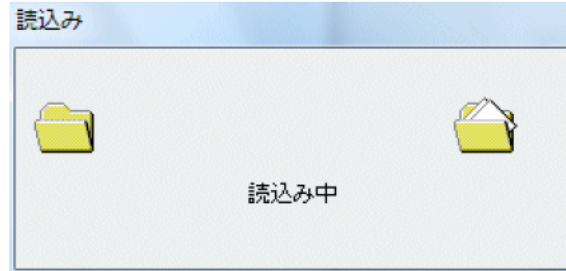
通信状況:

- 通信待ち時 : 灰
- 通信中 : 緑

② 機器情報データを受信する

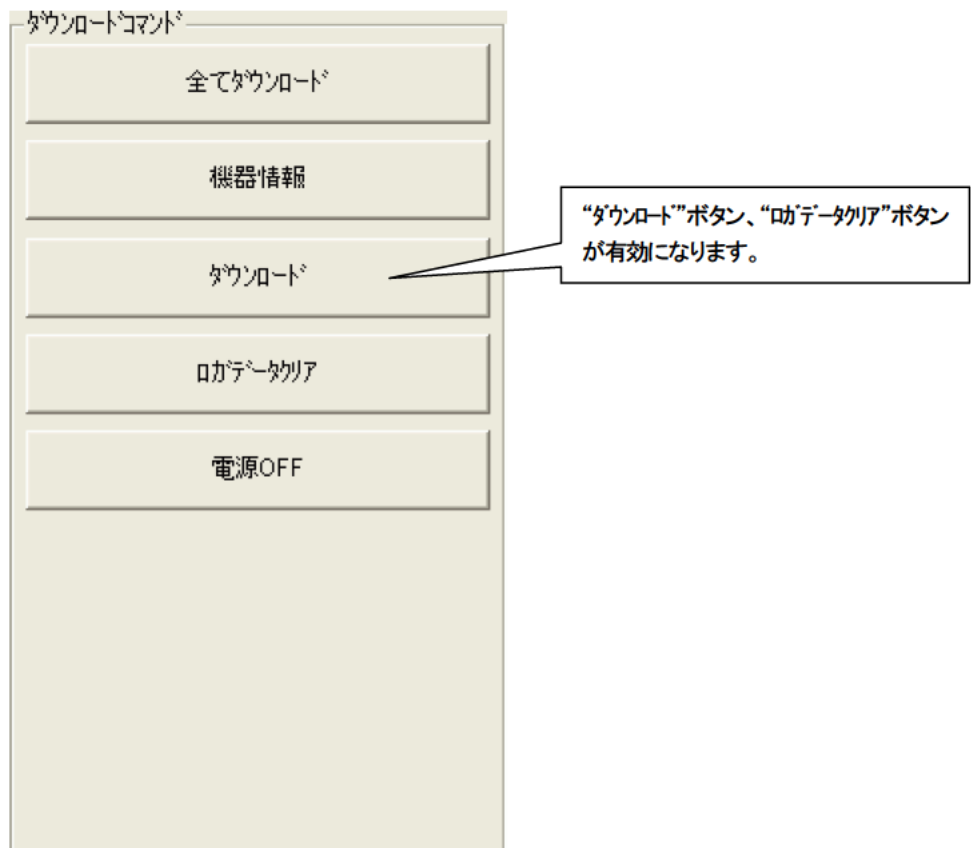
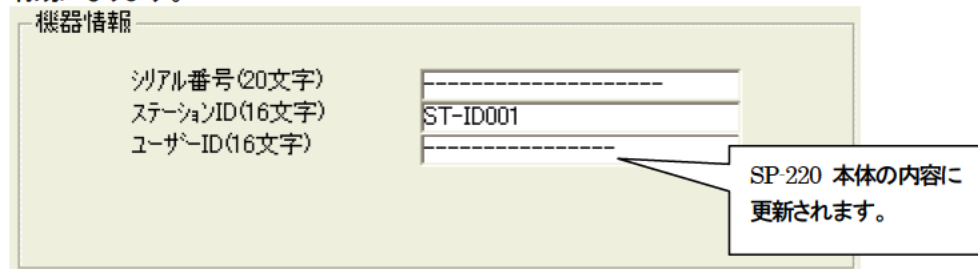
● 機器情報受信

最初に“機器情報”ボタンをクリックし、機器情報データの受信処理を行います。



受信中はアニメーションが表示されます。

“機器情報”データ受信後、“機器情報”エリアの内容が更新され、“ダウンロード”ボタン、“ロガークリア”ボタンが有効になります。



③ 各種データのダウンロード

- 測定データ
- イベントデータ

“機器情報”ボタンで、機器情報データをダウンロードした後に、“ダウンロード”ボタンが操作可能になります。

“ダウンロード”ボタンをクリックします。



インフォメーション エリアにデータ受信状況が表示されます。

注意：

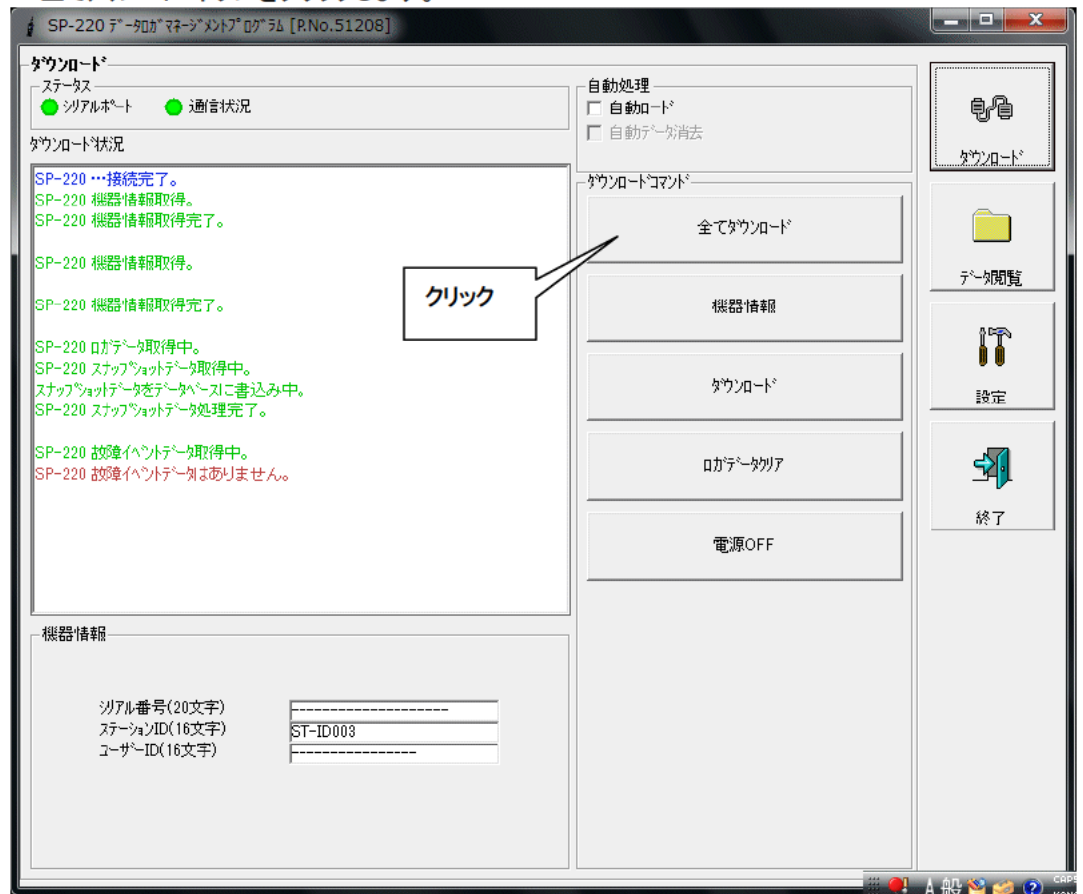
各データのダウンロード中は、他のデータアクセスを禁止するため、他のダウンロードボタン及び、“設定”ボタンが使用できなくなります。

④ 本体データの一斉ダウンロード

● 全データ

“全てダウンロード”ボタンは、“機器情報”、“故障イベント”、“電源ON/OFFイベント”のデータを一斉にダウンロードします。

“全てダウンロード”ボタンをクリックします。



インフォメーション エリアにデータ受信状況が表示されます。

注意：

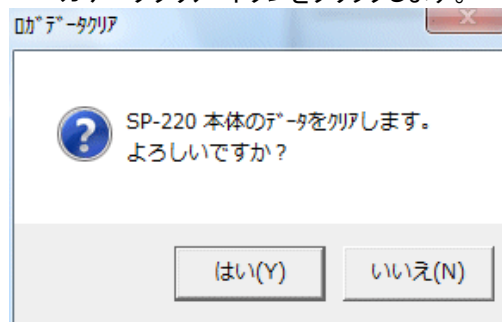
各データのダウンロード中は、他のデータアクセスを禁止するため、他のダウンロードボタン及び、“設定”ボタンが使用できなくなります。

⑤ SP-220 本体のデータクリア

● データクリア

“ログデータクリア”ボタンで SP-220 内部の各種データを削除します。

“ログデータクリア”ボタンをクリックします。



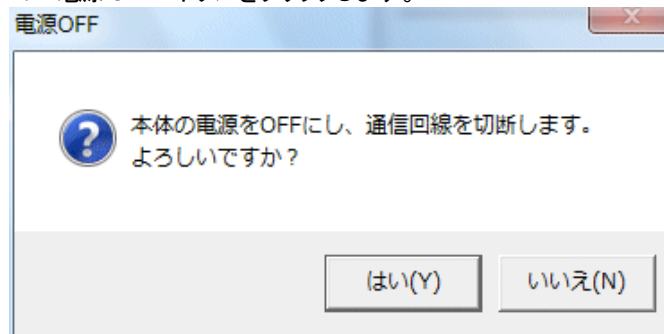
“はい”をクリックすると、データのクリア処理が開始されます。

⑥ SP-220 本体の電源 OFF

● 電源 OFF

“電源 OFF”ボタンで SP-220 本体の電源を OFF にし、パーソナルコンピュータのシリアルポートを初期化します。

1. “電源 OFF”ボタンをクリックします。

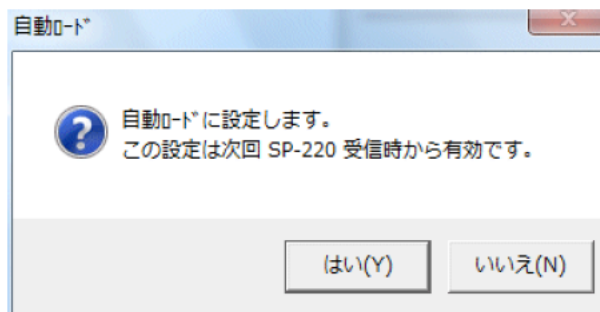
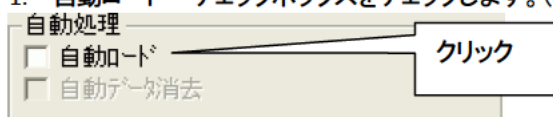


“はい”をクリックすると、SP-220 本体の電源 OFF 処理が開始され、パーソナルコンピュータのシリアルポートが初期化された後、本体からのデータ受信待ちになります。

⑦ 自動処理に変更する。

● 自動ロードモード

1. “自動ロード” チェックボックスをチェックします。(チェックされていない状態の場合)



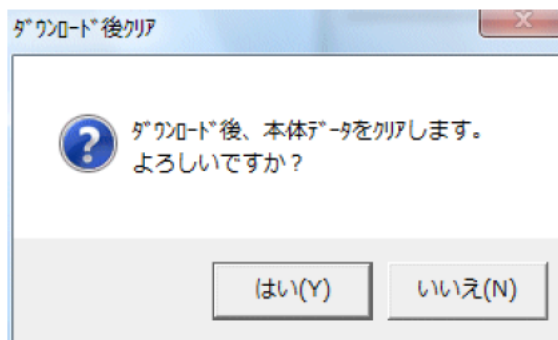
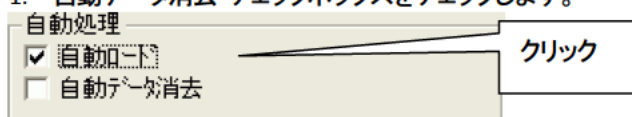
“はい”をクリックすると、自動処理に移行します。
 “いいえ”をクリックすると、モード変更がキャンセルされます。

SP-220 本体の電源を ON した後、パーソナルコンピュータ側が、自動的に全データをダウンロードし、SP-220 本体の電源を OFF にします。
 自動処理中は、手動でダウンロードすることは出来ません。

● ロード後の自動消去

自動処理では、ダウンロード後に、ダウンロード済みデータを自動削除することが出来ます。

1. “自動データ消去”チェックボックスをチェックします。

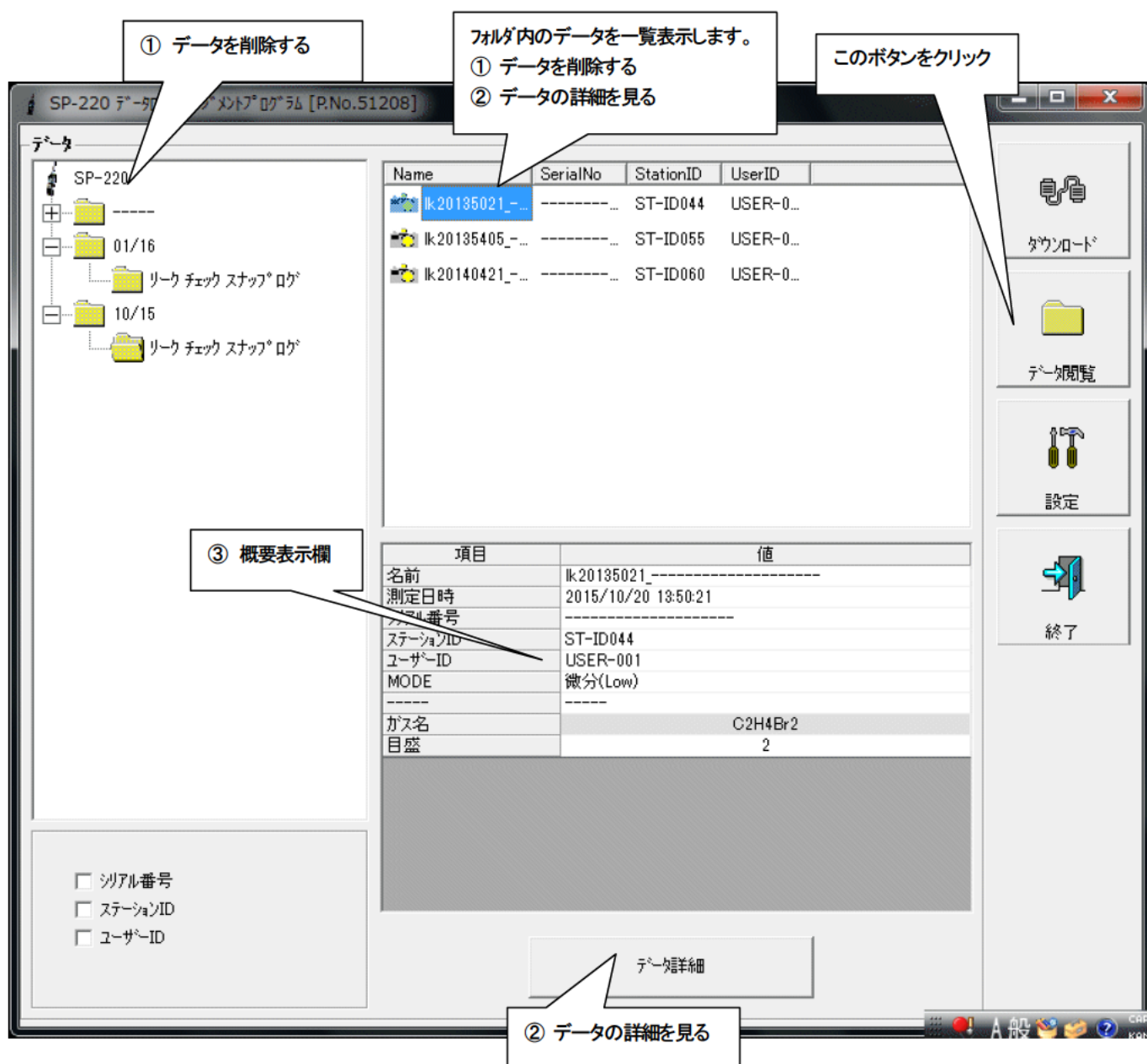


“はい”をクリックすると、全データをダウンロード後、SP-220 内部の各種データを自動的に削除します。

※何回もダウンロード → 消去 → ダウンロードと繰り返す場合、ダウンロード時間を短くできるので便利です。

3-2. データ閲覧画面

画面右端の“データ閲覧”ボタンをクリックすると以下の画面に切り替わり、ダウンロード データの一覧を見ることが出来ます。



Windows のエクスプローラと同じように操作可能です。但し以下のことは出来ません。

1. 各データの名称を変更する。
2. 各データを別の位置に移動する。

エクスプローラ風フォルダは、シリアル番号・ステーション ID・ユーザーID の順で階層表示されます。

各フォルダ、データ名は、以下のような規則に則っています。

フォルダ名: 10/15=2015 年 10 月のデータ

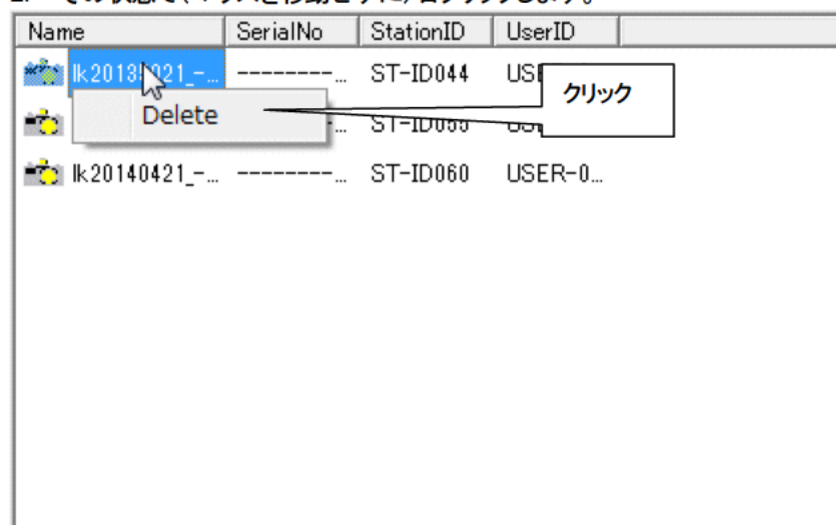
ファイル名: lk20135021_SERIALNO=スナップログ 20 日 13 時 50 分 21 秒 (スナップログ記録日時)

各フォルダのデータ数の制限はパーソナルコンピュータのメモリー制限内となりますが、レスポンスを保つためにデータファイルの年毎バックアップなどを行ってください。4. データの保守を参照してください。

① データを削除する。

● 削除

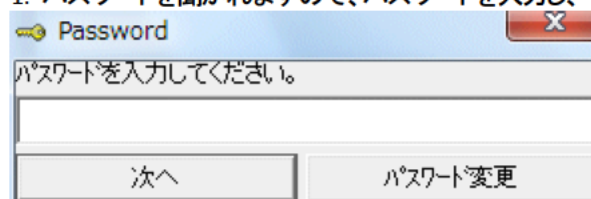
1. 削除したいデータ(フォルダ)を、クリックし選択状態にします。
2. その状態で(マウスを移動せずに)右クリックします。



“Delete”メニューがでますので、“Delete”をクリックします。

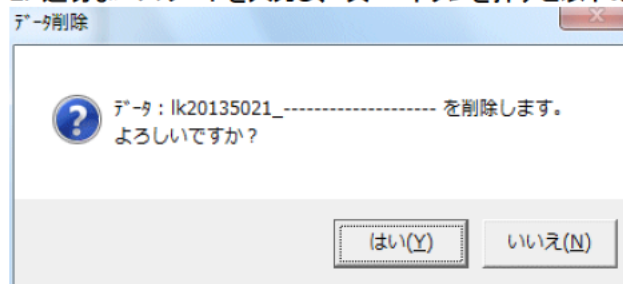
● パスワードの入力

1. パスワードを聞かれますので、パスワードを入力し、“次へ”ボタンを押してください。



注意: パスワードを入力せず、“次へ”ボタンを押したときは、削除処理がキャンセルされます。

2. 適切なパスワードを入力し、“次へ”ボタンを押すと以下のメッセージが表示されます。



“はい”ボタンでデータが削除されます。

“いいえ”ボタンでデータの削除がキャンセルされます。

② データの詳細を見る

● データ詳細へ

1. 詳細表示したいデータをクリックし、概要表示欄に概要が表示されていることを確認し、“データ詳細”ボタンをクリックします。

または、

2. 詳細表示したいデータをダブルクリックします。

データ詳細の使用方法は → 3-4. データ詳細画面 を参照ください

③ 概要表示欄

● 内容詳細

選択されているデータが通常のデータの場合に、そのデータの概要が表示されます。

リークチェック スナップログ

項目	値
名前	lk20135021_-----
測定日時	2015/10/20 13:50:21
シリアル番号	-----
ステーションID	ST-ID044
ユーザーID	USER-001
MODE	微分(Low)
-----	-----
ガス名	C2H4Br2
目盛	2

- 名前 : データ名
- 測定日時 : 記録日時
- シリアル番号・ステーション ID・ユーザー ID : SP-220 本体のステータス
- MODE : 測定モード
- ガス名 : ガス
- 目盛 : 記録時のガス目盛数

故障イベント

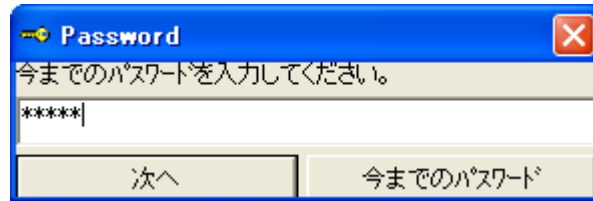
DateTime	Gas/Body	Event
2015/10/19 16:41:07	Body	Fail(FLOW)
2015/10/19 16:41:05	Body	Fail(ALK)

- DateTime : イベント発生時刻
- Gas/Body : 発生したガスまたは SP-220 本体
- Event : イベントの種類

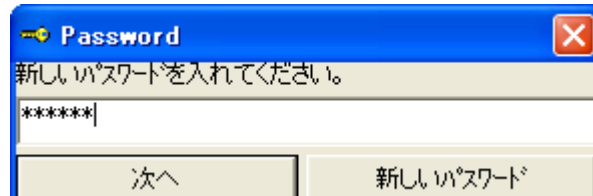
④ パスワードの変更

● パスワードの入力

1. データの削除と同じ方法でパスワード画面を表示させ、“パスワード変更”ボタンをクリックします。

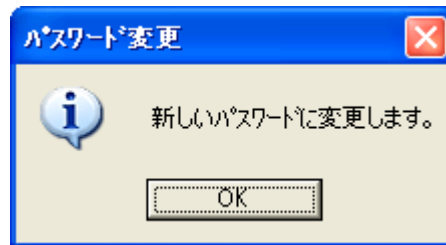


2. 適切なパスワードを入力し、“今までのパスワード”ボタンを押すと以下のメッセージが表示されます。



3. ここで新しいパスワードを入力し、“新しいパスワード”ボタンをクリックします。

4. 再度、同様にパスワードを聞いてきますので、同じ(新しい)パスワードを入力し、“新しいパスワード”をクリックします。



“OK”をクリックすれば、新しいパスワードに更新されます。

注意: インストール直後のパスワードは、“Riken”となっています。(大文字・小文字の区別がありません。)

3-3. データ詳細画面

① 表でみる

各データの詳細内容を表にした画面です。

The screenshot shows the 'データ詳細(リークチェック スナッフ ログ)' window. The table contains the following data:

番号	ユーザーID	ステーションID	Gas	日時	目盛	MODE
1	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:50:21		微分(Low)
2	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:50:25		微分(Low)
3	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:50:28		微分(Low)
4	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:50:38		微分(Low)
5	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:50:46		微分(Low)
6	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:50:53		微分(Low)
7	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:51:04		微分(Low)
8	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:51:12		微分(Low)
9	USER-001	ST-ID044	C2H4Br2	2015/10/20 13:51:18		微分(Low)

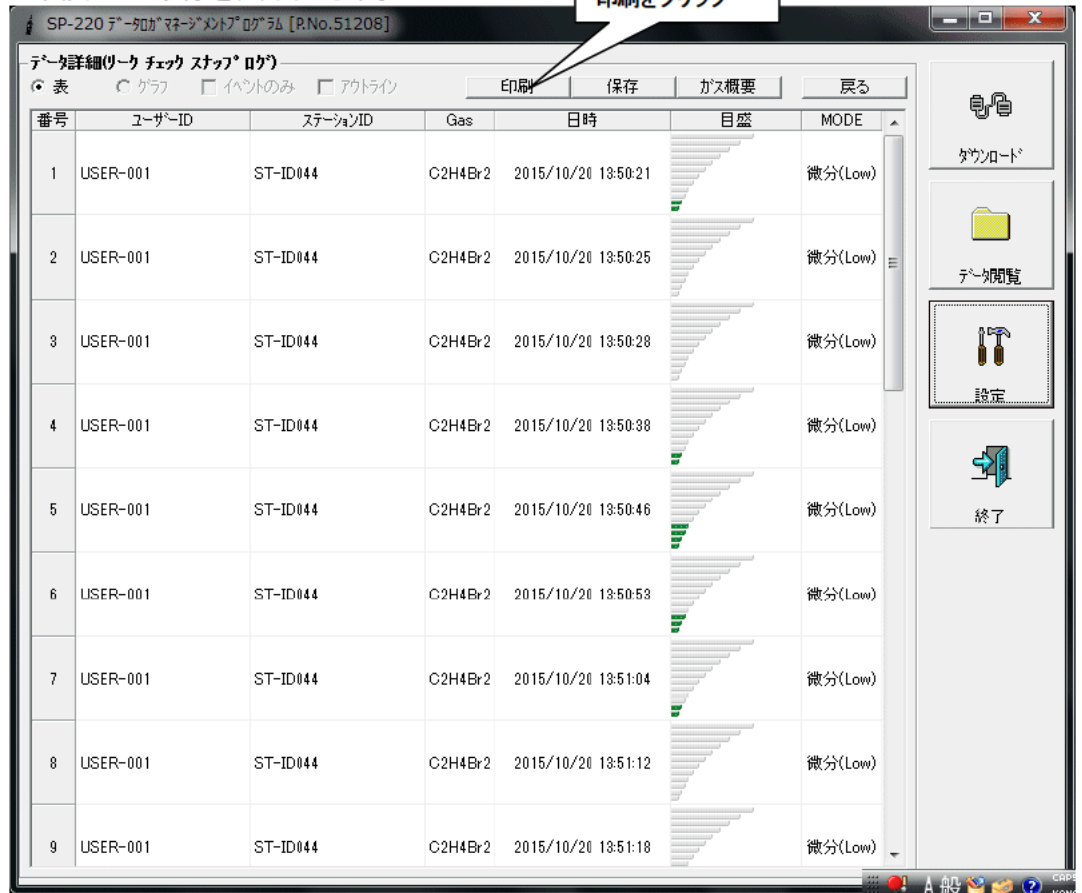
Callouts in the image point to the '印刷' (Print) button (プリンタに印刷する), the '保存' (Save) button (ファイルにセーブ), and the 'ガス概要' (Gas Summary) button (データの概要が同時に知りたい時).

② プリンタに印刷する

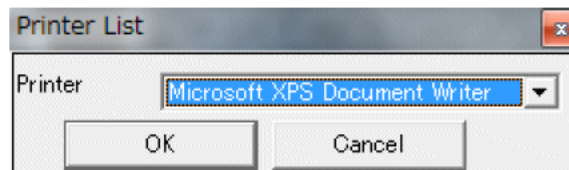
● 印刷

現時点でデータ詳細画面に表示している内容を、プリンタに送り印刷することが出来ます。

1. 画面上の“印刷”をクリックします。



プリンタの選択画面が表示されますので、印刷を行いたいプリンタを選択して“OK”ボタンをクリックします。



“OK”ボタンをクリックすれば、印刷が開始されます。

“Cancel”ボタンをクリックすれば、印刷を行わず画面が戻ります。

印刷例(故障イベント)		印刷例(リークチェックスナップログ)																																																																																																																																																																																												
<p>SP-220 Data Logger (Trouble Event) 2015/10/19 12:22:51</p> <p>項目 値</p> <p>シフト番号 _____</p> <p>ステーションID ST-ID001</p> <p>ユーザID USRP-001</p> <p>発生時刻 2015/10/19 11:00:42</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>日時</th> <th>Case Body</th> <th>Event</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2015/10/19 11:41:07</td> <td>Body</td> <td>FuelFlow</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2015/10/19 11:41:08</td> <td>Body</td> <td>FuelFlow</td> </tr> </tbody> </table>		番号	日時	Case Body	Event	1	2015/10/19 11:41:07	Body	FuelFlow	2	2015/10/19 11:41:08	Body	FuelFlow	<p>SP-220 Data Logger (リークチェックスナップログ) 2015/10/19 12:22:27</p> <p>項目 値</p> <p>発生時刻 月/日 10/19</p> <p>シフト番号 _____</p> <p>ステーションID ST-ID044</p> <p>ユーザID USRP-001</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>ユーザID</th> <th>ステーションID</th> <th>Case</th> <th>日時</th> <th>回数</th> <th>MODE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:30:21</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>2</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:30:25</td><td>0</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>3</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:30:26</td><td>0</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>4</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:30:26</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>5</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:30:46</td><td>4</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>6</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:30:52</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>7</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:31:04</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>8</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:31:12</td><td>0</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>9</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:31:19</td><td>3</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>10</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:31:25</td><td>4</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>11</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:32:01</td><td>5</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>12</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:32:25</td><td>1</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>13</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:32:32</td><td>1</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>14</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:32:47</td><td>4</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>15</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:32:52</td><td>1</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>16</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:02</td><td>1</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>17</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:06</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>18</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:19</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>19</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:36</td><td>1</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>20</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:42</td><td>2</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>21</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:46</td><td>0</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>22</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:50</td><td>0</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>23</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:52</td><td>0</td><td>異常発生</td></tr> <tr><td>24</td><td>USRP-001</td><td>ST-ID044</td><td>CS4HD-C</td><td>2015/10/20 12:33:56</td><td>1</td><td>異常発生</td></tr> </tbody> </table>		番号	ユーザID	ステーションID	Case	日時	回数	MODE	1	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:21	2	異常発生	2	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:25	0	異常発生	3	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:26	0	異常発生	4	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:26	2	異常発生	5	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:46	4	異常発生	6	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:52	2	異常発生	7	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:04	2	異常発生	8	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:12	0	異常発生	9	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:19	3	異常発生	10	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:25	4	異常発生	11	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:01	5	異常発生	12	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:25	1	異常発生	13	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:32	1	異常発生	14	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:47	4	異常発生	15	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:52	1	異常発生	16	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:02	1	異常発生	17	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:06	2	異常発生	18	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:19	2	異常発生	19	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:36	1	異常発生	20	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:42	2	異常発生	21	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:46	0	異常発生	22	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:50	0	異常発生	23	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:52	0	異常発生	24	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:56	1	異常発生
番号	日時	Case Body	Event																																																																																																																																																																																											
1	2015/10/19 11:41:07	Body	FuelFlow																																																																																																																																																																																											
2	2015/10/19 11:41:08	Body	FuelFlow																																																																																																																																																																																											
番号	ユーザID	ステーションID	Case	日時	回数	MODE																																																																																																																																																																																								
1	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:21	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
2	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:25	0	異常発生																																																																																																																																																																																								
3	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:26	0	異常発生																																																																																																																																																																																								
4	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:26	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
5	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:46	4	異常発生																																																																																																																																																																																								
6	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:30:52	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
7	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:04	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
8	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:12	0	異常発生																																																																																																																																																																																								
9	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:19	3	異常発生																																																																																																																																																																																								
10	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:31:25	4	異常発生																																																																																																																																																																																								
11	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:01	5	異常発生																																																																																																																																																																																								
12	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:25	1	異常発生																																																																																																																																																																																								
13	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:32	1	異常発生																																																																																																																																																																																								
14	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:47	4	異常発生																																																																																																																																																																																								
15	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:32:52	1	異常発生																																																																																																																																																																																								
16	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:02	1	異常発生																																																																																																																																																																																								
17	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:06	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
18	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:19	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
19	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:36	1	異常発生																																																																																																																																																																																								
20	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:42	2	異常発生																																																																																																																																																																																								
21	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:46	0	異常発生																																																																																																																																																																																								
22	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:50	0	異常発生																																																																																																																																																																																								
23	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:52	0	異常発生																																																																																																																																																																																								
24	USRP-001	ST-ID044	CS4HD-C	2015/10/20 12:33:56	1	異常発生																																																																																																																																																																																								

注意

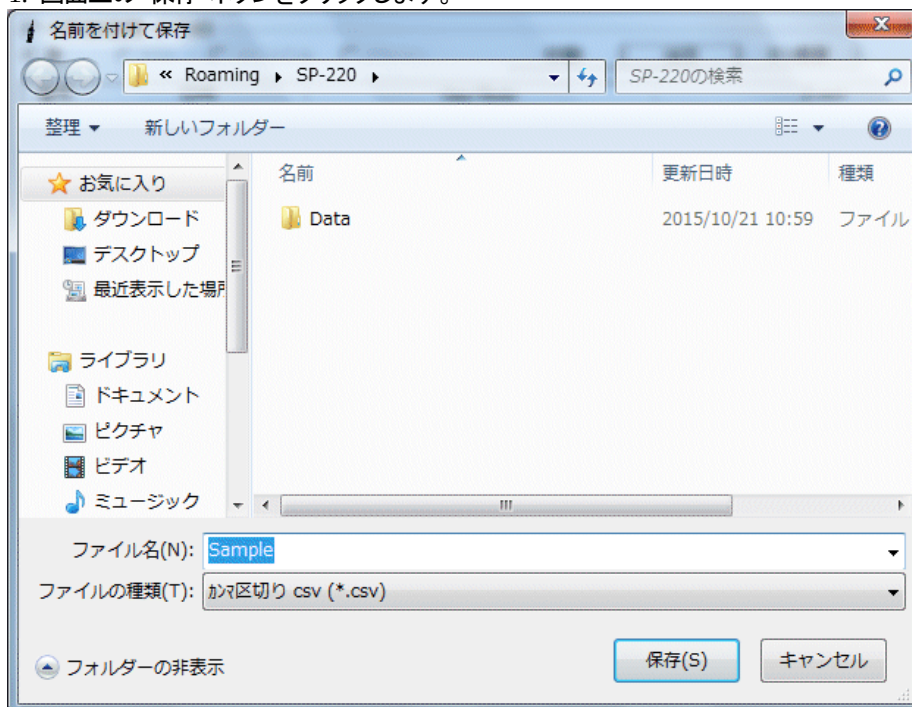
プリンタ設定の注意点

- ①プリンタの詳細設定は、ご使用のプリンタで異なります。お持ちのプリンタの取り扱い説明書をご参照ください。
- ②本プログラムは“印刷範囲”の項目を指定することは出来ません。よって、選択した詳細データの一部のみを印刷するような使い方は出来ません。
- ③印刷部数の設定は、指定したプリンタによって設定できるプリンタのみ変更可能になります。
 ここでの変更は、以後使用する他のアプリケーションにも影響を与えます。(たとえば、印刷部数を2部にした場合、他のアプリケーションの印刷も2部になる場合があります。)
 本プログラムでプリンタ設定を変更した場合で、その後、他のアプリケーションで印刷を行う場合は、そのアプリケーションの印刷設定をご確認してから印刷してください。

③ ファイルに保存

● 保存

1. 画面上の“保存”ボタンをクリックします。



格納したい場所と、ファイル名を指定し、“保存”ボタンでデータが格納されます。
“キャンセル”ボタンで保存をキャンセルします。

注意：

表の内容が Excel 用 CSV 形式で保存されます。

④ データの概要が同時に知りたい時

● 概要表示

1. 画面上部の“ガス概要”ボタンをクリックします。

SP-220 データ管理ソフトウェア [P.No.51208]

データ詳細(リークチェック ストップ ログ)

表 グラフ イベントのみ アウトライ

印刷 保存 ガス概要 戻る

項目	値
測定時期(月/年)	10/15
シリアル番号	-----
ステーションID	ST-ID044
ユーザーID	USER-001

番号	ユーザーID	日時	目盛	MODE
1	USER-001	2015/10/20 13:50:21		微分(Low)
2	USER-001 ST-ID044	2015/10/20 13:50:25		微分(Low)
3	USER-001 ST-ID044	2015/10/20 13:50:28		微分(Low)
4	USER-001 ST-ID044	2015/10/20 13:50:38		微分(Low)
5	USER-001 ST-ID044	2015/10/20 13:50:46		微分(Low)
6	USER-001 ST-ID044	2015/10/20 13:50:53		微分(Low)

右側メニュー: データロード, データ閲覧, 設定, 終了

概要が表示されている状態で、“ガス概要”ボタンをクリックすると、概要表示部が消えます。

⑤ 表の詳細

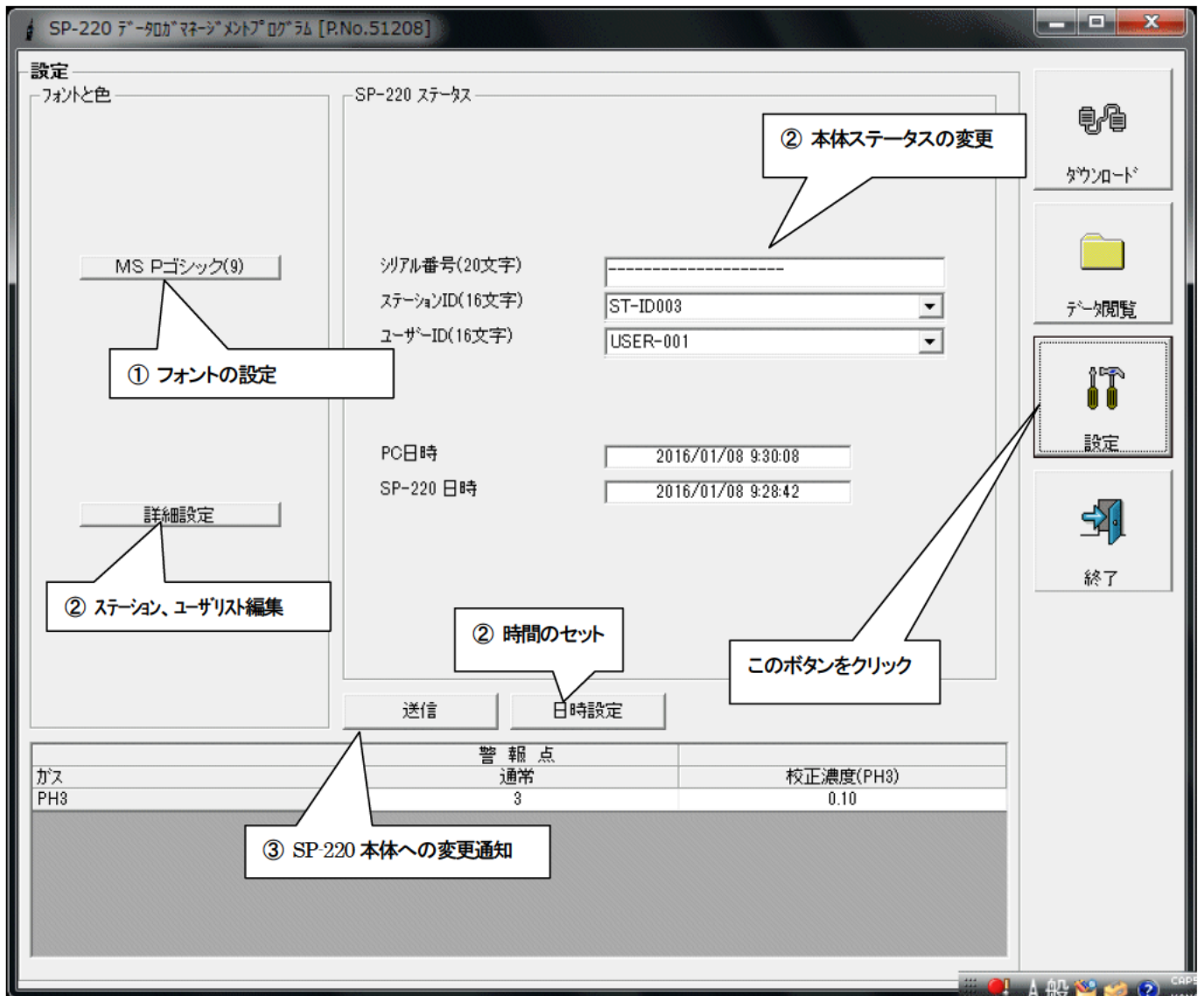
●リークチェック スナップログ

番号	ユーザーID	ステーションID	Gas	日時	目盛	MODE
25	USER-001	ST-ID060	C2H4Br2	2015/10/20 14:06:00		微分(Low)
26	USER-001	ST-ID060	C2H4Br2	2015/10/20 14:06:03		微分(Low)
27	USER-001	ST-ID060	C2H4Br2	2015/10/20 14:06:05		微分(Low)
28	USER-001	ST-ID060	C2H4Br2	2015/10/20 14:06:09		微分(Low)
29	USER-001	ST-ID060	C2H4Br2	2015/10/20 14:06:13		微分(Low)
30	USER-001	ST-ID060	PH3	2015/10/20 15:53:39		通常
31	USER-001	ST-ID060	PH3	2015/10/20 15:53:44		通常
32	USER-001	ST-ID060	PH3	2015/10/20 15:53:52		通常
33	USER-001	ST-ID060	PH3	2015/10/20 15:53:55		通常

記録時の目盛状態が緑色で表示されます。

3-4. 設定画面

画面の表示設定と本体の内容の設定を行ないます。



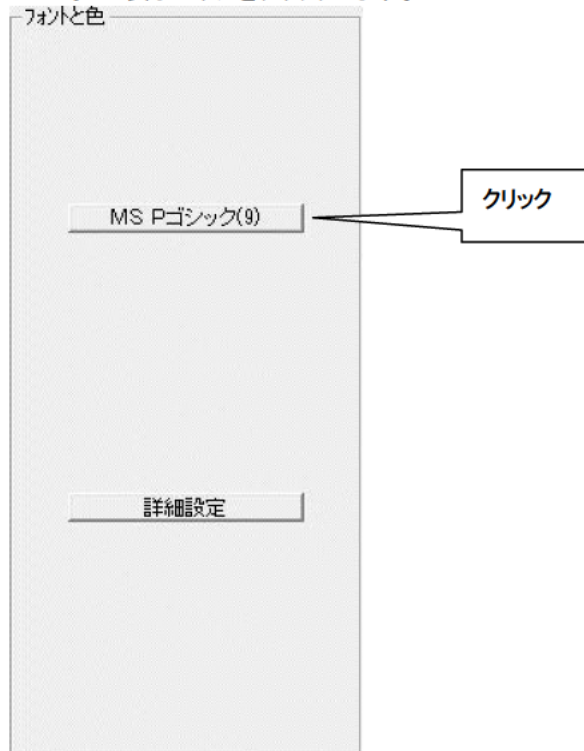
注意：設定・変更したデータは、必ず“送信”ボタンで、SP-220 本体に転送する必要があります。

注意：フォントは、次回起動時より適用されます。

① フォントの変更

● フォントの変更

1. フォント表示エリアをクリックします。



フォント設定ダイアログが出ますので、適切なフォントを設定してください。

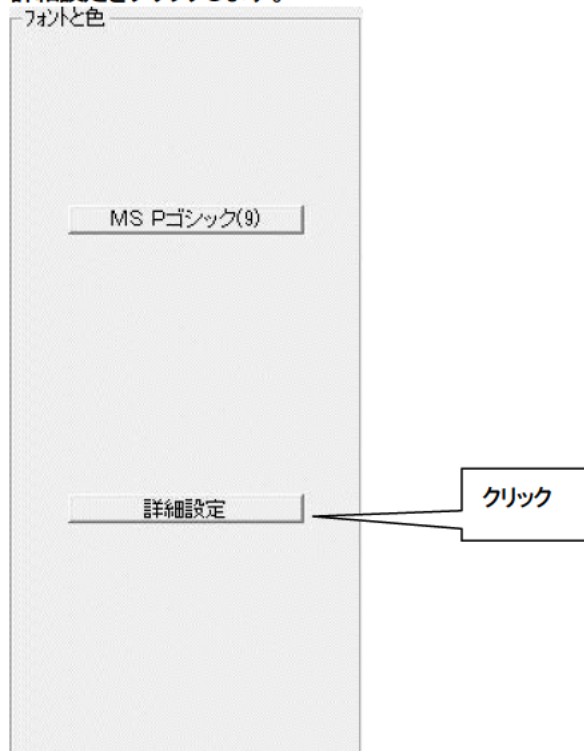
注意：

著しく大きなフォントなどを使用すると、画面が見づらくなる場合があります。
この変更は次回起動時から有効になります。

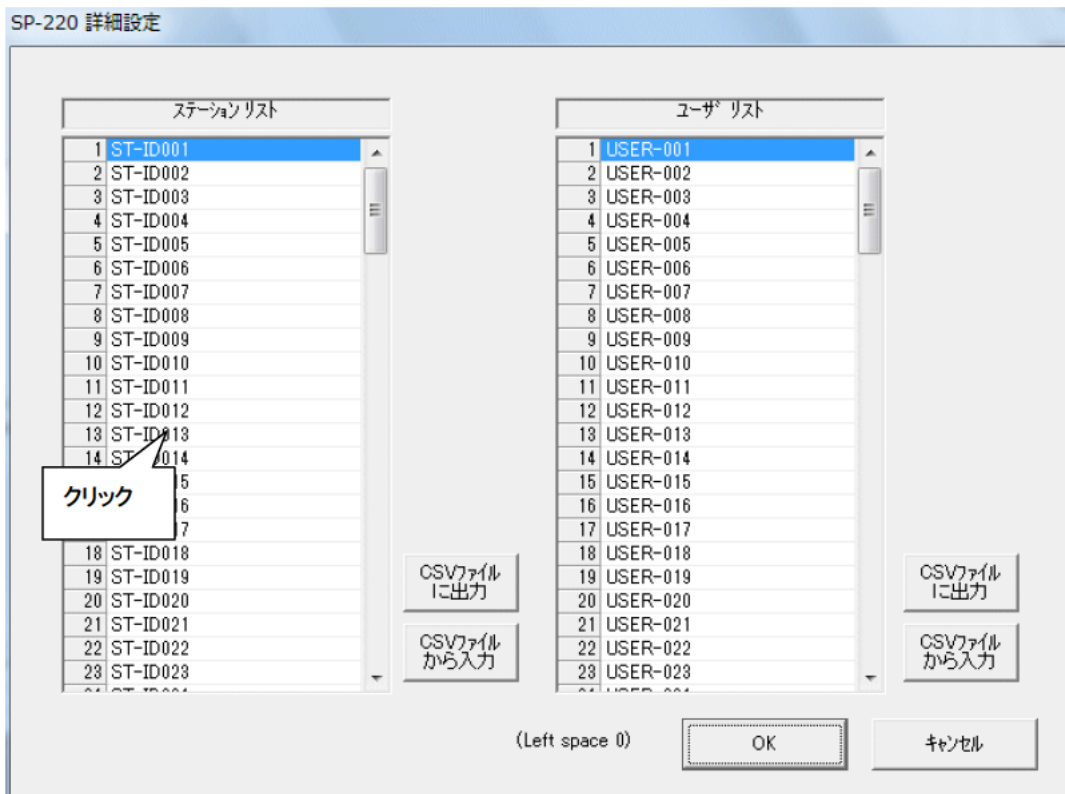
● ステーション、ユーザリスト
編集

1. ステーション ID、ユーザ ID リストを編集します。

詳細設定をクリックします。



② 本体ステータスの変更



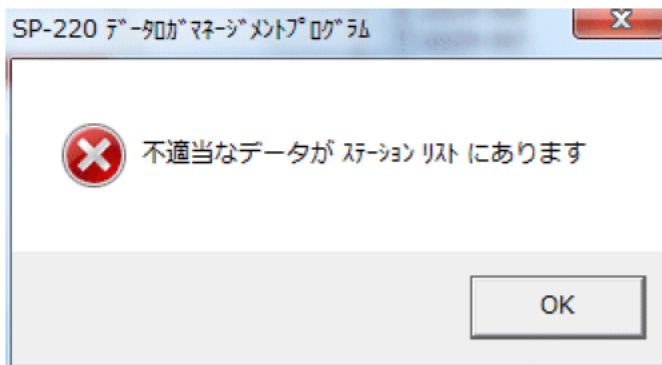
編集ダイアログ画面が表示されます。ステーションリストは 128 番まであります。
16 文字以内の英数字とスペース、ハイフン記号、スラッシュが入力できます。

※SP-220 本体では先頭 8文字だけの表示となります。8文字以内英数大文字にすることをお勧めします。

CSV ファイルに出力 ファイルに出力します。No,データ のテキストファイルが作成されます。

CSV ファイルから入力 No,データ のテキストファイルから読み込みます。サポートされない文字や長さ超過の場合、背景色が赤くなります。

※背景色に赤いところがある場合、**OK** を実行することはできません。



● 変更

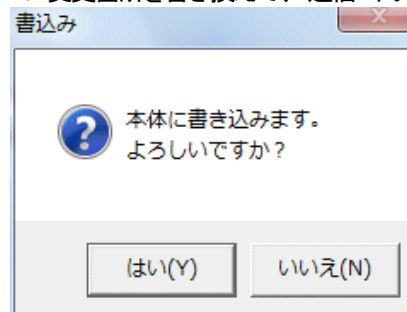
2. ステータスエリアの任意のデータを変更します。

“シリアル番号” 20桁、内容を変更することが出来ます。
“ステーションID”、“ユーザーID” をリストから選択し変更することが出来ます。
“日時設定”ボタンで、パーソナルコンピュータ(“PC 日時”)と、SP-220 本体の内部時計(“SP-220 日時”)を同じに合わせます。
注意： 各日時エリアは、直接入力できません。
注意： 時計セット以外は、この変更だけでSP-220 本体の内容は書き換わっていません。必ず本体への変更要求処理＝送信を行なってください。

③ SP-220 本体への変更通知

● 変更の通知

1. 変更箇所を書き換えて、“送信”ボタンをクリックします。



“はい”ボタンをクリックすると、変更内容を SP-220 本体に転送、記憶されます。
“いいえ”ボタンをクリックすると、通知をキャンセルします。

注意： 変更内容に戻すことは出来ません。変更通知前であれば、“ダウンロード”画面で、“機器情報”ボタンをクリックし、機器情報データをダウンロードすることで、本体内部の情報に戻すことが出来ます。

4. データの保守

使用方法によっては、1日に数回のデータを読み込む場合など、すぐにデータが多くなり見たいデータを探すだけでも苦労してしまう場合も考えられます。また、予期せぬパーソナルコンピュータのトラブルなどで、貴重なデータを失ってしまう可能性もゼロではありません。

これら不測事態にも対応できるように、定期的にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。

4-1. データの格納構造の詳細

データは、ショートカットの作業フォルダ内に有ります。

- 1)ファイル名 : SP220.mdb
- ファイル種別 : Microsoft JET3.6 データベースファイル

4-2. バックアップ

使用形態にもよりますが、別のハードディスク装置や、外部補助記録装置(MO、CD-R など)にコピーすることをおすすめします。戻すときは、SP-220 の実行プログラムのある場所に、コピーすればプログラムは起動時にデータを検索しますので、データを見ることが可能になります。

5. 使用上の注意点

本プログラムをご使用の場合は、以下の項目について十分配慮するようお願いいたします。

- ① データ受信時は、適切な位置に SP-220 があることを確認してください。適切でない場合は、正常に通信できません。
- ② 受信中は、同時に他のアプリケーションでも同じような操作をするようなことは避けてください。(たとえば、データ受信中に他のアプリケーションで赤外線通信を行うような行為)
- ③ 本プログラムを強制終了しないでください。(Ctrl + Alt + Del での操作など)本プログラムは終了処理時に設定パラメータを保存し、次回起動時に備えます。そのため、強制終了した場合は、次回起動に障害をもたらす可能性があります。
- ④ データファイルを直接書きかえることはしないでください。

6. トラブルシューティング

症状	原因	解決策
通信が出来ない。	本体位置が悪い。障害物がある。	本体の位置を変える。
	他に赤外線を使うものがある。	他機器の電源を OFF にするか干渉しないようにする
通信中にエラーが出る。	外乱光がある。	赤外線を使うものを排除する。
	通信中に SP-220 本体が移動	通信中に動かさないようにする
通信データがおかしい	外乱光がある	赤外線を使うものを排除する。

上記対策でも直らない場合は、弊社サービスへご連絡ください。

7. IrDA 仕様

7-1. 赤外線通信について

本体とは、赤外線通信(IrDA プロトコル)にて通信を行います。
ご使用のコンピューターが赤外線通信可能か確認してください。
また、本体の赤外線通信ポートとパーソナルコンピューターの通信ポートが一直線になるようにし、他の光の干渉を抑えるようにしてください。

注意:

このプログラムは IrDA が使用可能な環境でのみ、SP-220 本体と通信が行えます。ご使用のパーソナルコンピューターに IrDA 装置が内蔵されているか、使用可能な状況になっているかご確認をお願いします。

また、IrDA 装置が内蔵されていない機器(ほとんどのデスクトップ型と一部のノート型)の場合は市販の IrDA⇄USB 変換器などをご使用ください。

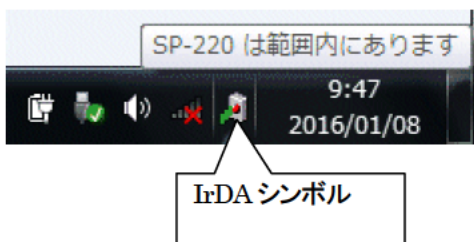
7-2. 通信開始の状態表示

通信が開始されるときにオペレーティングシステムが赤外線を持った装置があることを認識し、タスクバーに表示されます。

その表示で、通信状態をある程度把握することができます。

注意: オペレーティングシステムならびに IrDA ドライバーの設定で表示内容などが異なる場合があります。

7-2-1. オペレーティングシステムが SP-220 を認識したときのタスクバーの表示



IrDA のシンボルが現れ、カーソルを重ねると「SP-220 は範囲内にあります」と表示されます。

7-2-2. データログプログラムと SP-220 本体が通信を行っているときのタスクバーの表示



IrDA のシンボルが通信のアニメーションに変化し、カーソルを重ねると「SP-220 とのワイヤレスリンクがxxxxbpsで行われています」と表示されます。

*「xxxx」は通信速度を示し、通常は 115200bps です。ただし環境の状況で 38400bps 程度まで落ちることがあります。

注意:

SP-220 本体やデータログプログラムの内部処理オーバーヘッド時間の関係上、回線速度が 38400bps 以上であれば全体の通信時間にほとんど変化はありません。これは、SP-220 本体内でデータを作成している時間や、データログプログラムが受信データを解析している時間が比較的大きいためです。

8. ファイル構成

インストール時のファイル内容・運用時のファイル内容の詳細です。

8-1. インストールフォルダ

ファイル名	詳細
SP220.exe RkIrDA11.ocx Filemove.avi	SP-220 プログラム本体 赤外線通信コンポーネント データ受信中のアニメーションファイル

8-2. 実行時の作業フォルダ

ファイル名	詳細
SP220.ini SP220.dat SP220.mdb Data Serial.log	SP-220 初期設定ファイル データダウンロード用ファイル データベースファイル (Microsoft Jet3.6 データベース) トレンドデータファイル保存ディレクトリ プログラム起動時からの通信ポート内容の記録(調査・保守用)

注意: プログラム起動以降に作成されます。

9. ソフトウェア機能諸元

製品名(プログラム名)	SP-220 データログマネージメントプログラム
製品型式	SW-SP-220
実行ファイル名	SP220.EXE
使用可能 OS	Microsoft 社製 Windows 7 Windows 8 Windows 10
プログラム容量	本体部約 3MB、ライブラリー約5. 2MB (インストール時最大40MB の領域使用)
本体通信	赤外線(IrDA1.1 プロトコル)準拠方式 標準通信設定 ボーレート 115200bps(上限値) データビット 8ビット ストップビット 1ビット パリティ 偶数
転送時間	最大約 3 分(標準通信設定時、最大データ数時)
媒体	CD-ROM 1 枚
パッケージ内容	取扱説明書(本仕様書) 製品保証 登録カード 使用許諾契約書